

ねむろ 市議会 だより



NEMURO CITY COUNCIL NEWS

発行／根室市議会

根室市常盤町2-27 根室市議会事務局
TEL (0153) 23-6111 FAX (0153) 24-5820
E-mail: gikaijimukyoku@city.nemuro.hokkaido.jp

主な 内容

10月定例会議会「一般質問」9人 ②
9月開会議会・10月定例会議会
会議日程及び質疑内容等 ⑧
議長・副議長就任あいさつ
各委員会名簿 ⑪
根室市議会「会派構成」一覧 ⑫
根室市議会からのお知らせ ⑫
議会まめ知識 ⑫

第54号

令和7年(2025)
12月1日

新たな議会がスタートしました



令和7年9月7日執行の根室市議会議員選挙で当選した議員により、同月26日に9月開会議会が開催されました。開会議会では、正副議長の選出や各常任委員会委員の選任、特別委員会の設置などが上程され、審議の結果、新しい議会構成が決定いたしました。

※上記写真中

後列左より、鈴木 一彦、久保田 陽、吉田 智和、壺田 重夫、佐野 晴彦、五十嵐 寛、阿部 秀子、中村 久、保坂いづみ
前列左より、富川 歩、本田 俊治、工藤 勝代、遠藤 輝宣、永洞 均、橋本 竜一、須崎 和貴（敬称略）

9月開会議会・10月定例会議会を開催しました

9月26日に開会議会を開催し、新たに正副議長、常任・特別委員会の正副委員長・委員等を選任し、新たな議会体制が始まりました。また、通年議会の会期を令和7年9月26日から令和8年8月31日の340日間とすることに決定しました。

10月定例会議会は10月9日から29日までの21日間で行われました。一般質問では9人の議員が登壇し、防災・減災対策、市内の太陽光発電施設や総合体育会館建設などについて議論しました。

令和6年度決算については、一般会計決算審査特別委員会と各事業・特別会計決算審査特別委員会において、一般会計は4日間、各事業・特別会計は3日間で各会計の決算審査を行い、11件いずれも原案のとおり可決・認定をいたしました。

このほか、議員提案として再生可能エネルギー発電施設の開発規制の強化を求める意見書など、合計6件の意見書案が上程され、いずれも原案のとおり可決したところであります。



10月定例会議会
(令和7年10月9日～10月29日)

「一般質問」概要

10月定例会議会では9人が一般質問を行いました

※掲載している質疑の内容については、質問した議員自らがまとめたものであり、詳しい質疑内容は、市ホームページに掲載予定です。

一般
質問

市政クラブ

阿部 秀子 議員



高齢者の見守りについて

問

根室市でも高齢化率が進み、独居高齢者が増加している現状を踏まえ、独居高齢者の方で、一人暮らしの不安や心配、困りごとを訴える方が多いと感じている。例えば、年齢に伴いこれまで出来たことができなくなったり、億劫になる。免許返納で買物の不便、また健康への不安、災害時や詐欺などの不安、孤独感などがある。親族が遠方にいて近くに頼れる人がいない方や、配偶者に先立たれて一人暮らしの独居高齢者へのきめ細やかな見守りサポート制度の充実をさらに強化していく考えについて見解を伺う。顔の見える安心できる話し相手、必要な生活情報の発信、選挙などに行けない方への支援など、誰ひとり取り残されることのない安心して地域で暮らし続けることができる街づくりを望む。

答

乳酸菌飲料の配布事業や配食サービスなどを通じて安否確認等を実施し、日常的に状況把握をしている。また、高齢者見守りボランティア事業を実施し、町内会、各種サークル団体や地域の方に声掛けや訪問、地域のつながり活動が行われている。さらなる支援体制の充実を図っていく。

子育て支援について

問

児童虐待対応状況と「こども家庭センター」の設置について、進捗状況はどのようなになっているのかお伺いしたい。子どもの権利を守るため、早期から虐待状況を見過ごすことなく、どの子も安心安全に家庭や地域の中で暮らせるよう、要支援家庭への訪問、援助、子どもの居場所づく

り、親子関係形成支援などを網羅することも家庭センターの役割を期待する。

答

関係機関で組織する「根室市要保護児童対策地域協議会」で情報共有や支援の協議等を行い、子どもを守る体制作りに取り組んでいる。また、こども家庭センター設置に向けて、業務マニュアルの作成を進めている。医療、福祉など関係機関の連携のため、情報共有や役割分担の調整、構築を図っている。今後、広報誌等を通じ役割を周知し、年度内の運営開始を進めている。

一般
質問

会派 紬 (つむぎ)

吉田 智和 議員



観光振興のための「体験型観光」について

問

「通過型」観光から「滞在型」観光への移行を図るために団体客対応のホテル建設の企業誘致など、具体的な方策を伺う。

答

観光客は団体から個人旅行へと移行し、ワゴン車やキャンピングカーによる滞在も増加している。通過型から滞在型観光への転換には体験型観光の充実が必要であり、市は団体客にも対応できる宿泊施設の確保が重要と考え、駅前市有地での宿泊施設誘致を推進していく方針である。

問

観光客のニーズが「見る」観光から「参加・体験する」観光へと変化してきている。市では「観光資源を活かした体験型観光」の今後の展開について、どう考えているか伺う。

答

本市は国内でも有数の野鳥の楽園として環境整備やPRを進め、国内外のバードウォッチャーが訪れる聖地となっている。落石ネイチャークルーズ、歯舞パノラマクルーズや氷下待網漁プログラムなど体験観光も展開されており、今後も支援を続けつつ、野鳥観光を軸に根室の魅力を活かした観光資源づくりを推進していく。

学校部活動の地域展開への取組について

問 根室市の現状と今後の段階的なスケジュール等について伺う。

答 【教育長】国は、学校部活動を地域全体で支える「地域展開」を推進している。当市の中学校等では現在11種目・271名の生徒が活動し、ソフトテニス、サッカーに続き、10月からバスケットボールを試行。今後は指導者確保や競技体制の課題に対応しつつ、体制の整った種目から順次地域展開を進めていく。

問 スポーツ少年団の役割を踏まえ、地域クラブ活動化に向けた連携をどう進めるか、考えを伺う。

答 【教育長】地域部活動の推進には少年団との連携が重要だと考えている。少子化を踏まえ、小中一体の活動や同一種目団体の協力が必要であり、指導者育成や経費支援策を検討しながら、他市事例を参考に地域展開を進めていく。

一般
質問

会派 紬（つむぎ）

須崎 和貴 議員



市の防災訓練このままでいいの？

問 総合防災訓練は毎年同じような内容で実施されている。市民参加がさらに進むような防災訓練の実施も必要ではないか？

答 総合防災訓練は、千島海溝沿い巨大地震と津波を想定した関係機関や市職員の実動訓練が主な内容。一方、市民が主体となる防災訓練は、「自助・共助」意識の向上に大変効果的であり、自衛隊、警察、消防、防災士などと連携した「新たな防災イベント」について検討を進めている。幅広い年齢層が参加しやすい配慮と体験型プログラムの充実など、防災意識と地域防災力の向上に繋がる防災訓練の実施に取り組んでいく。

インクルーシブ教育推進、今後の方向性は？

問 花咲港小学校、海星学校の「※インクルーシブ教育推進特認校」の指定について、条件や定員などの制度をつくるのか？適応指導教室「ふれあいくらぶ弥生」の分室設置や移動手段の確保などに取り組むとしているが、人材等の支援体制は？

答 【教育長】2校は、市内外から教育内容や登校に関する相談等を多数受けており、「インクルーシブ教育推進特認校」と位置づけ、様々な事情を抱える子どもたちを柔軟に受け入れることができるよう、通学区域規則の見直しの検討などを進めている。「ふれあいくらぶ弥生」は、学校環境に近い場での利用を望む声もあり、きめ細かな対応や指導、見守り支援体制の強化に必要な人員の確保に向け、関係各所と検討協議している。

ふるさとキャリア教育の充実に向けて

問 あらゆる分野で人材不足の昨今、地域の担い手を育成する※ふるさとキャリア教育は中長期的な視点での人材確保にも繋がるものとする。具体的な取り組みや学校外との協力体制は？

答 【教育長】地域資源を活用した学習の推進や、職場体験学習、高校生が放課後教室の指導員を体験するネクストティーチャーズなど、地域の人々の思いや生きざまに触れることで、ふるさとへの愛着を育む教育に取り組んでいく。地域連携推進員やコミュニティスクールアドバイザーがコーディネーターの役割を担い、協力体制の構築を進めながら、ふるさとキャリア教育の充実を図っていく。

一般
質問

創志クラブ

佐野 晴彦 議員



災害時の避難を困難にする袋小路について

問 奥行き300メートル、道路幅員の狭い袋小路が光洋町にあり、災害時に

※インクルーシブ教育：子どもの主体性を大切にしたり、障がいのある子やない子が共に学ぶなど、多様性を重視した保育・教育。

※ふるさとキャリア教育：郷土を誇りに思う気持ちを醸成するふるさと教育と、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力を育てるキャリア教育を融合したもの。

奥の住民が避難できなくなる危険性がある。これについてどのように考えているか伺う。

答 日頃からこうした場所の把握に努め、現場確認を継続する。高齢者など要配慮者への支援を含め、関係部署や地域住民と連携して避難対策を検討していく。

RSウイルスワクチン接種について

問 ＊RSウイルスワクチン接種の検討状況について伺う。

答 高齢者や基礎疾患を持つ人がRSウイルスに感染すると、重症化リスクが高まる。道内では 4 町村が公費助成を実施中。国でも定期接種化が検討されている。市は今後、市内の医療機関の意見も聞きながら検討を続ける。

市街地の外来雑草（アメリカオニアザミ）の駆除について

問 外来雑草の全市的な対応について伺う。

答 環境省指定の特定外来種「アメリカオニアザミ」が市街地で増加し、鋭いトゲが人や牛などの家畜に危険を及ぼすことがある。これまで外来植物等が市民生活に影響が出ないように、注意喚起に取り組んできたが、今後も駆除や処分方法に関する市民周知に努めるとともに、駆除を行う家庭や町内会・団体への支援や助言も検討する。



アメリカオニアザミ

新ごみ処理施設の整備について

問 新ごみ処理施設の建設に係る進捗状況について伺う。

答 現在、実施設計に取り組んでいるほか、施設整備の造成工事が開始されたところである。また、地元住民への工事説明会を開催し、不安解消を図っている。今後においては、令和 8 年 4 月末までに実施設計を終え、同年 5 月からの施設本体の建築工事と並行して、令和 9 年 4 月からごみ処理設備のプラント工事を行ったのち試運転期間を設け、令和 10 年 9 月末に竣工する予定である。

一般
質問

日本共産党根室市議会議員団

橋本 竜一 議員



再生可能エネルギー発電施設の条例について

問 条例制定により市のこれまでのガイドラインよりこういった点から規制強化が図られるようになると想定しているのか。

答 条例は指導要領と違い法的拘束力がある。抑制区域や禁止区域などエリア設定、災害時の行動計画など市としての意思表示と指導要領で不足している部分を事業者を求める。



市内の風力発電施設

訪問入浴サービスについて

問 訪問入浴の再開の見通しは？

答 （代替サービスの）通所型入浴サービスは新規の受け入れを開始し現在は 8 名が利用。現時点で訪問入浴の再開の見通しは示せないが、人材育成や財政的な手法

※RSウイルス：乳幼児から高齢者まで誰もが感染する可能性のある、呼吸器感染症を引き起こすウイルス。高齢者や基礎疾患を持つ成人でも肺炎などを引き起こすことがあり、何度でも感染を繰り返す特徴がある。

を検討しつつ持続可能な体制づくりを看護師や介護職員を有する事業者と協議を進めている。

児童デイサービスセンターについて

問 4月から直営化し9月より新施設の運用が開始。利用状況と新年度の体制の見通しは？

答 現在の利用登録22名、1日あたりの利用人数は平均2.4人。心理士の職員配置を目指しているが採用に至っていない。



根室市児童デイサービスセンターひだまり

問 言語聴覚士も募集している。仮に新年度から採用できなかった場合の影響は？

答 新年度の採用にならない場合は委託による専門職の派遣で対応する。業務内容や派遣期間など十分に調整を行い、影響が来ないよう努める。

問 職員のスキルアップの取り組みは？

答 様々な研修機会に参加・派遣し職員の育成を図る。

地域包括ケア病床の廃止について

問 今後、回復期の患者さんへの対応や※レスパイト入院についてどのように担っていくのか。

答 これまで地域包括ケア病床で対応してきた在宅復帰に向けた支援やレスパイト入院は継続して行う。

一般
質問

日本共産党根室市議会議員団

鈴木 一彦 議員



物価高騰対策について

問 物価高騰に対し、(10月10日時点で)国はほとんど対策を行っていないと考える。今こそ、市民の皆さんの苦難軽減のために、国に先行して市独自の物価高騰対策を行うべきではないか。

答 物価高への対策は、経済対策と同様国の責務としての対応が重要。それを地域の実情にあわせて補完するため、自治体の対応が一体的に進められることが望ましい。国の方向性を見極めながら迅速に対応してまいりたい。

問 物価高騰が続けば市民の皆さんの生活はますます苦しくなっていく。それでも国の出方を待つというのか。もう一度見解を伺う。

答 国の出方を待つとは考えていないが、国の方向性と一体的に進めることが望ましい。現在、12月定例月議会を控え、政策会議での調整を進めているので、効果的な対策を迅速かつ的確に対応してまいりたい。

学校給食調理施設整備について

問 「民間事業者による整備・運営の手法を見出す」(民設民営)の方向性が示された。「学校給食法」を読み解けば、学校給食調理施設は自治体が設置・管理・運営し、その運営には地方公務員が従事することが望ましいと考えるが、教育長の見解を伺う。

答 【教育長】文部省体育局長通知により、学校給食業務の合理化について、地域の実情に応じ、民間委託等の方法により人件費等の経常経費の適正化を図ることを推進しており、学校給食業務の民間委託を禁ずるものではない。当市においては、持続可能な給食調理施設の運営には民間事業者による新たな発想を取り入れた、学校給食に限らな

※レスパイト入院：在宅で医療や介護を受けている方と、その介護を担うご家族や介護者の「休息」や「息抜き」を目的とした短期入院のこと。

い附帯事業の展開も期待できる民間委託が最善手であると判断したところ。

意見 大前提として学校給食は教育の一環である。その上で優先されるべき基準は、子どもの権利や発達の保障という視点であると考える。

一般
質問

市民クラブ

本田 俊治 議員



人口減少がもたらす地域への影響に対する課題認識

問 消滅可能性自治体と位置づけられている根室市、厳しい状況が想定される人口減少問題、地域への影響に対する課題認識について伺う。

答 人口減少により、まちの衰退を招くほか、税収が減少し公共インフラの維持確保や産業経済・生活交通の縮小、地域コミュニティの希薄化など、その影響は多岐にわたり、大変重要な課題と認識している。

公共施設整備目標の見える化と持続可能な行財政運営

問 人口減少が進むなかで、多くの公共施設整備を予定しているが、財政運営は大丈夫なのかと誰しもが不安に思う視点。公共施設整備目標の見える化と持続可能な行財政運営の見通しについて伺う。

答 公共施設マネジメントにあたっては、建設費に加え、維持管理費や地方債の償還といったライフサイクル全体を見据え、財政への影響を総合的に捉えることが重要。将来世代への責任として、将来負担を分かり易く示し、事業規模の適正化や投資判断の正確性を図り、公共施設の整備・運営を持続可能な形で進める。近く、中長期的な財政収支見通しを取りまとめ、「安心して理解いただけるよう」丁寧な公表に努める。

太陽光発電施設(メガソーラー)事業について

問 西浜町 1 丁目に太陽光発電施設が整備される計画がある。いつからこの事業計画を把握していたのか、また、「再生可能エネルギーを活用した発電施設の建設に関する指導要領」に基づき、どのような対応をしてきたのか伺う。

答 事業者より事業計画概要の説明を受けたのは、令和 6 年 4 月。以後、指導要領に応じた対応を求め、景観調査及び環境影響予測調査、振動・騒音調査、電波障害調査等法律や各種ガイドラインの基準等をクリアしていることを確認。全ての環境影響予測調査は令和 7 年 6 月に完了した。

意見 この 1 年間、まちづくり、自然・環境保全、※ゼロカーボン推進、企業誘致、税収等々多角的な視点から、また、整備予定地が市民感情的にどのような声が想定されるのか等、全庁協議を進めておくべき案件、更には、本年12月を目途に制定を進める指導要領の条例化についても、早くに対応すべきだったものと考ええる。

一般
質問

会派 紬 (つむぎ)

久保田 陽 議員



「体育会館建設」の規模と財源大丈夫か？

問 急速なる人口減少と少子高齢化が顕著となる中であって、全道大会規模とする施設面積を有する体育会館は必要なのか。さらに、全道大会を誘致するにも現在の宿泊施設数は906人分であり、夏季間の繁忙期と重なる場合は宿泊数が確保できないなど不安定な状況も考えられる。急速な人口減の中で、施設のより有効的活用が図られる大きさであることが必要と考える。これからの建設を進める公共施設は、身の丈に合った考えが必要である。また、塵芥焼却場や北斗小学校新設など大型公共施設の建設計画が進められており、それに加え

※ゼロカーボン：二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林や森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計の排出量を実質的にゼロにする状態。

て90億円に迫る建設費用を要する体育会館建設の計画を進めていくことに対し、将来の市民負担として懸念されると考えている。このような観点から、体育会館の規模を再検討すべきではないかと考える。

答

現在、計画中的ごみ焼却施設の建設や北斗小学校の移転新築、さらに体育会館建設について、現時点の見込みに基づき市債発行をした場合、4年後の令和11年度の公債費は約7億円増の24億円に達する見通しとなり、6年後の令和13年度には10億円の増加となり、27億円に達する見通しにある。身の丈に合った施設建設は当然と考えるが、体育会館の施設規模は、アリーナ部門で公認競技が可能な広さと避難施設の機能として900名の収容能力など、災害時を考慮した規模を確保しなければならないと考えている。また、体育会館建設財源は89億2千万円のうち、3年後まで60億円をふるさと応援寄付金の積立金を活用し、残額は現在、国土交通省及び防衛省庁が所管する補助制度の併用に向け関係省庁と協議を継続的に進めている。

空き家解体費用の助成拡充を！

問

空き家対策として、相談窓口の一元化及び解体費用や空き家を活用するリフォーム費用の補助制度を拡充すべき。

答

根室市空き家対策計画において、生活環境課が窓口となり相談対応に応じるとともに、現在の特定空き家等除却費補助制度を管理不全空き家等にも対象とした拡充を検討したい。

一般
質問

創志クラブ

永洞 均 議員



選挙における移動投票車の導入について

問

高齢者や投票所に出向くことが困難な有権者から移動投票に関する要望を頂いているが導入しないのか？

答

【選管委員長】移動投票車の導入については先進事例が多数ある。投票

率の向上が期待できる。具体的な検討を重ね、令和8年度の市長選挙からの導入に向け取り組んでいく。

感震ブレーカーについて

問

6月議会の私の一般質問により、*感震ブレーカーの全戸配布を表明されたが、①今年度先行配布した理由②配布世帯の選定理由③ブレーカーの選定と設置費用④一切の説明文書等もなく説明不足ではなかったか？

答

①通電火災の予防が喫緊の課題で千島海溝地震の備えとして先行配布。②津波災害警戒区域の世帯を優先対象とした。③日本消防設備安全センターの推奨品採用。自己設置可能。工事が必要な場合は自己負担。④改めて迅速に説明周知する。

市内の宿泊施設不足について

問

根室市内の宿泊施設不足が深刻化している。新規ホテルの誘致状況は？

答

駅前周辺における宿泊施設の誘致の取り組みを継続している。進出予定事業者の具体的検討が進められているがクリアすべき課題もある。6月に副市長が先方の代表者と協議を行った。観光客やビジネス客から根室に宿泊できないとの切実な声があることは認識している。誘致実現に努力する。

新総合体育会館の建設に向けた動向について

問

①根室市民の各世代の協力による市民委員会と基本計画、基本設計の策定等取り組みを進めてきた。財源対策で奔走していると思うが進捗状況は？②財源対策に相当の時間を要する場合、アリーナ部分とプールの分離建設をするなど、構想の見直しも必要ではないか？

答

①財源対策の集中的な取り組み年次である本年度（令和7年度）中に、道筋が付けられるよう、取り組みを強化する。また、ふるさと応援寄付金を総合体育館建設基金の積み増しに努める。②災害時のプール用水利用等、防災拠点型総合体育会館としての機能不全が発生するので構造や機能は維持する。

議会の会議日程及び質疑内容等

9 月開会議会 令和 7 年 9 月26日(金)《 1 日間 》

○議題

| | | |
|-----|--------------------------------------|---------------------------|
| 会 期 | 令和 7 年 9 月26日から令和 8 年 8 月31日までの340日間 | 【全会一致で可決】 |
| 選挙 | 根室市議会議長の選挙について | 【当選（投票）】 |
| | 根室市議会副議長の選挙について | 【当選（指名推薦）】 |
| 選任 | 根室市議会常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任について | 【全会一致で選任】 |
| | 根室市議会常任委員会委員長及び議会運営委員会委員長の選任について | |
| | 根室市議会常任委員会副委員長及び議会運営委員会副委員長の選任について | |
| 議案 | 根室市議会北方領土・水産対策特別委員会の設置について | 【全会一致で可決】 |
| | 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について | |
| | 北海道市町村総合事務組合規約の変更について | |
| 報告 | そ の 他 | 専決処分報告について（損害賠償の額の決定及び和解） |

10月定例月議会 令和 7 年10月 9 日(木)～10月29日(水)《21日間 》

■10月定例月議会において全会一致で同意、可決及び認定された議案・意見書

| | | |
|------|------|---|
| | 人 事 | 根室市公平委員会委員の選任について |
| | | 根室市職員懲戒審査委員会委員の選任について |
| | | 根室市教育委員会委員の任命について |
| | | 根室市監査委員の選任について〔追加議案〕 |
| | 条 例 | 根室市職員給与に関する条例の一部を改正する条例 |
| | 単行議案 | 財産の無償譲渡について |
| 議案 | 予算関係 | 令和 7 年度根室市一般会計補正予算（第 3 号） |
| | | 令和 7 年度根室市国民健康保険特別会計事業勘定補正予算（第 2 号） |
| | | 令和 7 年度根室市介護保険特別会計事業勘定補正予算（第 1 号） |
| | | 令和 7 年度根室市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号） |
| | | 令和 7 年度根室市港湾整備事業会計補正予算（第 1 号） |
| | | 令和 7 年度根室市水道事業会計補正予算（第 2 号） |
| | | 令和 7 年度根室市下水道事業会計補正予算（第 1 号） |
| | | 令和 7 年度根室市病院事業会計補正予算（第 2 号） |
| | | 令和 7 年度根室市一般会計補正予算（第 4 号）〔追加議案〕 |
| | | 令和 7 年度根室市港湾整備事業会計補正予算（第 2 号）〔追加議案〕 |
| | 決算関係 | 令和 6 年度根室市港湾整備事業会計剰余金の処分及び決算の認定について |
| | | 令和 6 年度根室市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について |
| 認定 | 決算関係 | 令和 6 年度根室市一般会計歳入歳出決算の認定について |
| | | 令和 6 年度根室市市民交通傷害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について |
| | | 令和 6 年度根室市流通加工センター汚水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について |
| | | 令和 6 年度根室市農業用水事業特別会計歳入歳出決算の認定について |
| | | 令和 6 年度根室市介護保険特別会計事業勘定歳入歳出決算の認定について |
| | | 令和 6 年度根室市下水道事業会計の決算認定について |
| 意見書案 | | 国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書 |
| | | 再生可能エネルギー発電施設の開発規制の強化を求める意見書 |
| | | 国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書 |
| | | 将来にわたり安全安心な医療・介護制度の提供を求める意見書 |

■10月定例月議会において賛成多数で可決及び認定された議案・意見書 〔○：賛成、×：反対、－：欠席(退席)〕

| 議 件 名 ・ 意 見 書 | | | 創志 | 市政 | 会派軸 | 共産 | 市民 | 保坂 |
|---------------|--------------------------------|---------------------------------------|----|----|-----|----|----|----|
| 認定 | 決算関係 | 令和 6 年度根室市国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × |
| | | 令和 6 年度根室市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| | | 令和 6 年度根室市病院事業会計の決算認定について | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| 意見書案 | O T C 類似薬の保険適用除外を行わないことを求める意見書 | | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × |
| | 消費税を緊急に引き下げを求める意見書 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

■10月定例月議会において報告された議件

| 議件名 | | |
|-----|-------|------------------------------------|
| 報告 | 決算関係 | 令和 6 年度根室市各会計決算に関する報告について |
| | | 令和 6 年度根室市特定目的基金運用状況に関する報告について |
| | | 令和 6 年度根室市健全化判断比率について |
| | | 令和 6 年度根室市各公営企業会計資金不足比率について |
| | | 令和 6 年度根室市下水道事業会計継続費精算報告書について |
| | そ の 他 | 債権放棄の報告について |
| | | 株式会社根室市観光開発公社の経営状況報告について |
| | | 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に関する報告について |

○主な議案・質疑の内容

●総務経済常任委員会（審査件数：2 件）

「財産の無償譲渡について」

- ・財産譲渡に係る無償の根拠について
- ・財産の無償譲渡に係る公益性の確保等について

●予算審査特別委員会（審査件数：8 件）

「令和 7 年度根室市一般会計補正予算（第 3 号）」

- ・ふるさと応援寄附金を原資とする各種基金の積立方針と予算措置の考え方及び総合体育館建設基金の積立と事業推進の関連等について
- ・自立支援給付システム改修業務の概要と就労選択支援制度に係る市内事業所の現況等について
- ・市内保育所に係る全体的な空調設備整備の見通し等について



◆一般会計決算審査特別委員会

○令和 6 年度根室市一般会計歳入歳出決算の認定について

- 【総務費】・総合計画策定事業に係る地域懇談会の開催概要及び定期的な懇談会開催並びに市民の意見を聞く姿勢に対する考え方等について
- ・津波防災地域づくり推進業務の概要と成果内容及びこれまでの津波防災対策の取り組み等について
- 【民生費】・高齢者バス優待乗車券の交付・利用実績及び高齢者における A I オンデマンド交通利用の把握等について
- ・保育所における賄材料費決算額の推移と物価高騰の影響等について
- 【衛生費】・妊婦一般健康診査に係る補助金の予算との差異及び無償化の効果等について
- ・ごみ減量化・資源化対策事業の決算内容及び資源回収団体奨励金に係る回収回数別交付内訳と奨励金見直しの考え並びに業者による瓶回収の現状等について
- 【労働費】・U I ターン新規就業支援事業に係る制度周知及び新たな支援メニューの内容と財源並びに市による独自支援の考え等について
- ・就業支援に係る国による制度を含めた市としての基本的な考え方等について

- 【農林産費】・ヒグマの市街地出没を想定した関係機関との連携と訓練の実施及び緊急銃猟の制度内容と準備等について
・陸上養殖研究促進支援事業に係る決算内容と成果及び利用しやすい環境づくり並びに制度周知の取り組み等について
- 【商工費】・観光協会と市の関係性と連携及び協会の今後のあり方等について
・今後の観光振興にあたっての基本的な考え方及び市民理解と市民からみたメリット等について
- 【土木費】・市道の舗装率及び整備路線の選定基準並びに道路整備計画と進捗に対する評価等について
・市営住宅に係る高齢者世帯と単身世帯の傾向及び地域における見守り・支え合い体制のあり方等について
- 【消防費】・救急車3台体制における救急出動件数・搬送人員の増加への対応等について
・消防職員に係る人員体制の現状と今後の見通し及び中途退職の状況等について
- 【教育費】・コミュニティスクールに係る地域が独自に取り組む事業に対する支援の考え等について
・スポーツ少年団育成事業に係る補助金の決算内容及び少年団を取り巻く近況等について
- 【公債費等】・職員に係る時間外勤務手当増加の要因及び欠員と定年前退職並びに採用に際しての年齢上限の引き上げに係る職種別の考え等について
- 【歳入】・庁舎使用料に係る収入内訳と根拠及び他都市での取り扱い並びに使用許可の判断等について
・財政調整基金に係る繰入金の予算増額要因及び現在高等について

◆各事業・特別会計決算審査特別委員会

- 令和6年度根室市港湾整備事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
 - ・上屋管理費における工事請負費の令和7年度予算計上に係る考え並びに今後の水産上屋整備に係る考え方及び方向性について
 - ・港湾整備事業会計における後年に活用できる財源の状況について
- 令和6年度根室市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
 - ・管路の更新状況及び更新計画の考え等について
 - ・今後の収支不足を見据えた料金改定の検討と公表時期について
- 令和6年度根室市市民交通傷害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について
 - ・交通安全対策事業の一般会計移管に係る経過について
 - ・令和6年度における15歳未満の子どもたちの加入者数及び加入率並びに加入に係る減免制度について
- 令和6年度根室市国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出決算の認定について
 - ・マイナ保険証への移行後における保険証未所持等の方の医療費が10割負担となった事例及びその原因等について
 - ・国民健康保険税率の全道統一化に向けたスケジュール及び今後の税率の詳細等について
- 令和6年度根室市流通加工センター汚水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
 - ・汚水処理施設に係る今後の維持補修の考え方について
 - ・今後の汚水処理会計の運営に係る財源対策と一般会計繰入金に対する考え等について
- 令和6年度根室市介護保険特別会計事業勘定歳入歳出決算の認定について
 - ・市内外の各介護施設における入居状況及び利用ニーズに対する考え、取り組み等について
 - ・地域包括ケアシステムに係る医療分野との連携状況及び課題等の認識について
- 令和6年度根室市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
 - ・令和6年度における負担割合別被保険者数及び構成比率について
 - ・令和6年度における後期高齢者医療保険料率の改定内容及び改定前との差について
- 令和6年度根室市下水道事業会計の決算認定について
 - ・下水道管路の耐震化の状況と今後の計画等について
 - ・下水道事業経営戦略の収支計画における料金収入減と費用増に係る今後の収支バランスの安定化に向けた考え等について
- 令和6年度根室市病院事業会計の決算認定について
 - ・地域包括ケア病床の返上に係る地域ニーズへの対応等について
 - ・病院の経営安定化に向けた適正な医療体制と医療人材の確保について

議長・副議長就任あいさつ



議長

遠藤 輝宣

この度、9月開会議会において議長選挙により、平成20年3月から約1年6カ月間議長を務めて以来17年ぶりに再度就任いたしました。

私が以前議長に就任した17年前と比べ、根室市は人口流出や少子高齢化による労働力不足をはじめ、漁業不振や急激な物価高騰による市中経済への影響、北方領土問題や千島海溝沿い地震等の災害対策など、様々な課題、問題が深刻化している状況にあります。

このような中において、私ども根室市議会では、行政と連携してより良い市政の推進を図るとともに、開かれた議論の場として、市民の安全・安心な生活の場の確保や福祉の向上などに取り組んでまいりました。

今後におきましても、当市の基幹産業であります水産業の振興をはじめ、防災・医療・福祉・子育て支援・教育・北方領土対策等、様々な課題解決に向けて取り組んでまいりますので、議員各位共々市民皆様方のご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



副議長

工藤 勝代

このたび、第22代根室市議会副議長を拝命いたしました。再びこの重責をお預かりすることとなり、身の引き締まる思いでございます。市民の皆様からのご信任に心より感謝申し上げるとともに、そのご期待にお応えすべく、誠心誠意、職務に邁進してまいります。

現在、根室市は地域経済の停滞、少子高齢化に伴う人材不足、人口減少、さらには気候変動による一次産業への影響など、複雑かつ深刻な課題に直面しております。こうした状況を踏まえ、議会としての責務を果たすべく、市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、議長を補佐しながら、議会運営の充実と改革の推進に努めてまいります。

副議長として、議会の公正かつ円滑な運営に寄与し、市民の皆様との信頼関係を一層深められるよう、今後も不断の努力を重ねてまいります。何卒、変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

新たな市議会が始動しました

任期満了に伴う市議会議員選挙が9月7日に行われ、16名の議員が決まりました。議員改選後、初めての議会となる9月開会議会が9月26日に開会され、正副議長をはじめ、新しい議会体制が決定しました。

正副議長の選出は選挙により行われ、議長には遠藤輝宣議員、副議長には工藤勝代議員が当選しました。

また、各常任委員会委員、議会運営委員会委員、特別委員会委員並びにICT推進検討委員会委員及び広報委員会委員については、次のとおり決定しました。

(◎委員長 ○副委員長)

【総務経済常任委員会】

総合政策部、総務部、北方領土・国際交流部、水産経済部、建設水道部、会計課、消防本部、監査委員、選挙管理委員会、農業委員会及び公平委員会の所管に属する事項、並びに他の委員会の所管に属しない事項を審査します。

◎橋本 竜一、○中村 久、佐野 晴彦、五十嵐 寛、久保田 陽、吉田 智和、壺田 重夫、遠藤 輝宣

【文教厚生常任委員会】

市民生活部、健康福祉部、市立根室病院及び教育委員会の所管に属する事項を審査します。

◎須崎 和貴、○鈴木 一彦、富川 歩、永洞 均、工藤 勝代、阿部 秀子、本田 俊治、保坂いづみ

【議会運営委員会】

議会運営、議会の会議規則及び委員会条例等に関する事項、並びに議長の諮問に関する事項の調査を行います。

◎永洞 均、○須崎 和貴、富川 歩、中村 久、鈴木 一彦、本田 俊治

【北方領土・水産対策特別委員会】

北方領土問題とこれらに起因する水産の諸問題等について、適切な対策を講ずることを目的に活動します。

◎本田 俊治、○富川 歩、佐野 晴彦、中村 久、須崎 和貴、吉田 智和、鈴木 一彦、保坂いづみ

【ICT推進検討委員会】

議会活動の情報公開、議会報告会の運営、議会広報活動の充実、議会運営の活性化及び議会図書室の機能充実等に係るICT技術の積極的な活用を推進します。

◎本田 俊治、○工藤 勝代、永洞 均、須崎 和貴、橋本 竜一、保坂いづみ

【広報委員会】

「ねむろ市議会だより」の編集及び発行、インターネットを活用した議会のホームページ等の広報、並びに議会報告会の運営のほか、議会広報活動に関することに取り組みます。

◎富川 歩、○本田 俊治、阿部 秀子、吉田 智和、鈴木 一彦（敬称略）

根室市議会「会派構成」一覧

※令和 7 年11月 1 日現在の根室市議会の会派構成は次のとおりです。

| 創志クラブ | 市政クラブ | 会派 紬 |
|---------------|-------------|-------------|
| 会 長 富 川 歩 | 代 表 工 藤 勝 代 | 代 表 久保田 陽 |
| 幹事長 永 洞 均 | 幹事長 中 村 久 | 須 崎 和 貴 |
| 五十嵐 寛 | 阿 部 秀 子 | 吉 田 智 和 |
| 佐 野 晴 彦 | | |
| 日本共産党根室市議会議員団 | 市民クラブ | 無 所 属 |
| 団 長 鈴 木 一 彦 | 代 表 本 田 俊 治 | 議 長 遠 藤 輝 宣 |
| 幹事長 橋 本 竜 一 | 壺 田 重 夫 | 保 坂 いづみ |

根室市議会からのお知らせ

●今後の議会開催（予定）

▶12月定例会議会：12月中旬

※日程等の詳細は、議会運営委員会において決定後、市議会ホームページ及びフェイスブックでお知らせいたします。

●本会議・委員会の傍聴について

= 根室市議会は市役所 4 階です =

議会の本会議や各委員会は傍聴することができますので、ぜひお気軽にお越しください。

●市議会ホームページとフェイスブックページのご案内

根室市議会は「市民に開かれた議会」を目指す議会改革の取り組みとして、市議会ホームページ、フェイスブックページを開設し、市議会のさまざまな活動などを積極的に発信してまいりますので、ぜひご覧ください。

■市議会ホームページ

根室市議会

検索



■ホームページ



■フェイスブックページ

■フェイスブックページ <https://www.facebook.com/nemuro.shigikai>

二元代表制

憲法第93条第2項では、地方公共団体の長と議会の議員は住民が直接選挙することを定めています。この定めにより住民は長と議会という二元的な代表を持つことになり、その特徴は長、議員ともに住民を代表することです。

住民を代表する地方議会は、執行機関から独立し対等な関係であり、住民を代表する長と相互にけん制・抑制と均衡により、緊張感を保ち続けることが求められており、自治体が運営する基本的な方針を議決する「政策決定」の機能とその執行を「監視、評価」する役割を担います。

二元代表制の一翼を担う議員は、市民の声を聴き、その声を市政運営に届ける役割を担い、その声が安心安全なまちづくりや活力ある市政推進・経済活動に繋がるよう、より積極的かつ提案型の姿勢をもって日々の活動に努めなければなりません。

また、二元代表制を採る地方議会は、制度的には与野党関係が発生する仕組みとはなっていないので、議員は与えられた「議員としての権利と義務」のもと、議員活動、議会運営に努めることが求められます。